

# 大／阪／の／建／築／まちあるき——「みしま野」

きゅうこうへいだいよんれんたい(ちゅうぶだい29ぶたい)えいもん  
旧工兵第四聯隊(中部第29部隊) 営門



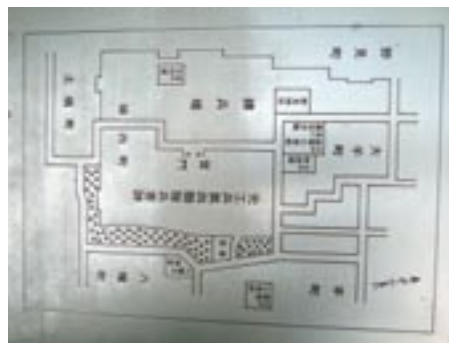
営門全景(守衛施設が影で判り難い)



守衛施設全景;ポストにも見えるし、庇が学生帽に似て人頭にも見える



ディテールにも拘ったデザイン似て人頭にも見える



掲示板に記載されていた敷地図

所在地： 高槻市城内町 1-35 (高槻市立第1中学校の住所) 付近城内公園内  
最寄駅： 阪急電車高槻市駅下車  
南へ徒歩約10分  
見学： 自由  
TEL： 072-674-7111  
(高槻市役所代表電話番号です)

ウィキペディア(インターネット上で展開されているフリー百科事典)によれば、工兵はmilitary engineer, combat engineer, pioneerと英語表記され、陸軍における歩兵、砲兵、騎兵に並び称される四大兵科の一つであるとされている。戦時下に於いて必要であるとされている部隊は、実際に戦った歩兵、戦車、砲兵部隊の他に、トーチカや塹壕、野戦築城、道路などを建設する部隊も必要であり、これらの建築・土木に特化した部隊が工兵部隊と呼ばれている。高槻城址に明治42年から昭和20年までの間、存在していた旧工兵第四聯隊は、建築・土木技術に長けた兵士を育成する機関であったと思われる。

現在のしろあと公園と高槻市立第1中学校の境界に沿って旧工兵第四聯隊兵舎の塀があり、営門は第1中学校の敷地を囲う金網フェンスの外側に公園の木々に包まれる様にして静かに佇んで居る。煉瓦を積み上げた門柱と鉄製と思われる門扉が未だに営門の存在を浮かび上がらせている。

現存していない旧兵舎は現在の中学校敷地内にあったとされている。門の横、兵舎敷地の外側に当たる公園の片隅には、昔懐かしい赤い郵便ポストを髣髴とさせる円柱形の小さな建物が建っている。この建物の内部空間は大人一人が中に立っている事を許すだけの広さしかなく、非常に狭い。円筒形の壁面には、営門に向けた部分に大人の肩幅よりも少し広く、大人背丈より少し高い大きさの出入口となる開口がはっきりと開いている。出入口の左右90度方向には丸い穴状の開口が開き、また出入口の真後ろにも丸い穴状の開口がある。建物の説明文はないが、営門守衛用の施設であったとされている。

外観の色は明るい灰色。モルタルを塗っただけの様にも見えるが、表面が苔生して(こけむして)おり、本来の色は判らない。内部は白色に塗装されている。外壁表面はしっかりとおり、その構造は不明瞭であるが、形状などの様子から推して、煉瓦組積造に左官仕上げしたもの、若しくは鉄筋コンクリート造に左官仕上げしたものであると推察できる。四角い建物を造れば、木造等、簡易な工法で構築する事が可能であったと考えられるが、敢えて円筒状の建物としたのは、建築技術に長けた兵士達が緊張した時間の中にも自分達の心の余裕を形にした結果であり、建築技術に長けた工兵ならではの意匠である。(神保 勲)